

参加費
無料



災害時に誰一人取り残さないための個別避難計画。その策定目標時期の令和7年度が迫っています。

行政の中でも防災と福祉、さらに行政と民間企業、団体などとの連携が重要です。

高い専門性を持つ講師と一緒に、その重要性和課題について考えていきましょう。

「個別避難計画のいま」

～令和6年1月1日能登半島地震発生！その時どう行動しましたか？～

開催日時 令和6年2月13日(火)午後1時30分から午後4時まで

会場 東北公益文科大学公益ホール(山形県酒田市飯森山三丁目5番地の1)

講演

講師：^{かぎや はじめ}鍵屋 一 氏
(跡見学園女子大学 教授)

1956年 秋田県男鹿市生れ。

1983年 板橋区役所入区、防災課長、板橋福祉事務所長、地域振興課長、福祉部長、危機管理担当部長(兼務)、議会事務局長を経て2015年3月退職

2015年3月 京都大学博士(情報学)

2015年4月 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授、法政大学大学院兼任講師

○内閣府「被災者支援のあり方検討会」座長、「個別避難計画作成モデル事業アドバイザーボード」座長、(一社)福祉防災コミュニティ協会代表理事、(一社)防災教育普及協会理事など

○著書『図解よくわかる自治体の地域防災・危機管理のしくみ』『ひな型でつくる福祉防災計画』(編著)など



「やまがた e 申請」
↓QRコード↓



県事業
の紹介

『個別避難計画作成モデル事業の実施状況について』
山形県防災くらし安心部防災危機管理課

申込方法

左記の二次元バーコードから申請画面にアクセスして申込してください。

○個人情報の取扱いについて

- ・申し込みの際にお知らせいただきました個人情報は、本イベントの運営に関する以外には使用しません。
- ・お知らせいただいたご本人の同意がある場合を除いては第三者に開示しません。
- ・提供していただいた個人情報は適切に管理し、漏えい、紛失等のないよう努めます。